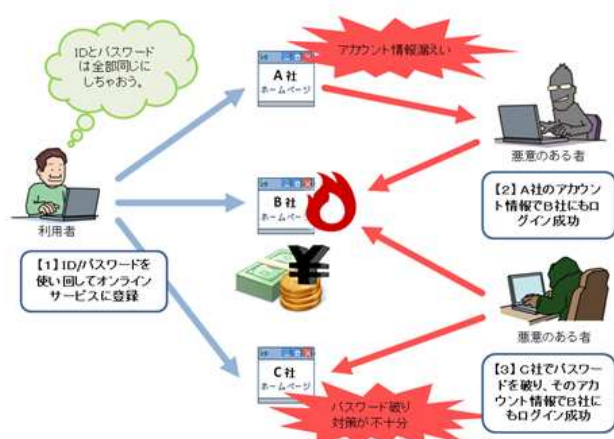


ID やパスワードを使い回すことの危険性

現状

最近、オンラインサービス(Webメールやブログ、ネット通販等)が攻撃を受け、多数の利用者のIDとパスワードが流出する事件が頻発しています。これに関連し、情報処理推進機構(IPA)は複数のサービスでIDとパスワードの使い回しを行っていた場合、これらの情報が他のオンラインサービスにおいても連鎖的に不正利用され、“なりすまし”による被害が拡大する恐れがあるとして注意を呼びかけています。

実際、警察庁が、インターネット企業13社の協力を得てパスワードの使い回しによる“なりすまし”の被害実態について調査した結果、2012年2月だけで延べ1万7000回の不正アクセスが確認されています。



課題

IDとパスワードを、複数の電子メールサービスやオンラインショッピングサイトなどで使い回していると、どこか1箇所で不正アクセスを受けてその情報が流出した場合、他のサイトで利用しているアカウントも乗っ取られ、被害が拡大する恐れがあります。

対策

パスワードの使いまわしは、行わないようにすることが重要です。

IDとパスワードの適切な管理方法については以下のサイトをご参照ください。

http://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/pr2012/general/01_password.html

用語の説明

「なりすまし」とは、他人のIDやパスワードを盗用し、その人のふりをしてネットワーク上で活動することを言います。本来ならばその人しか見ることができない機密情報を盗み出したり、悪事を働いてその人のせいにしたりすることができます。

<http://e-words.jp/w/E381AAE3828AE38199E381BEE38197.html>